

大野城市 議会だより

2021 令和3年
No.153
発行 大野城市議会
編集 広報委員会
令和3年6月1日
3
3月定例会



令和3年 第6回6月定例会 (予定)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
本会議および委員会の傍聴はお控えいただき
ますようお願いいたします。

6月1日(火)10:00～ 本会議 提案理由説明
4日(金)10:00～ 本会議 質疑・付託
7日(月)10:00～ 各常任委員会 9日迄

14日(月) 9:30～ 本会議 一般質問
15日(火) 9:30～ 本会議 一般質問
17日(木)10:00～ 本会議 報告・討論・採決

※撮影者：おばせ 勝義さん

主な記事

- 委員会報告……………P2～6
- 予算特集……………P7
- 会派代表質問・一般質問……………P8～15

市民とともに歩む議会だより

次号154号
令和3年8月15日発行
……………
あなたの写真で
議会だよりの紙面を
飾ってみませんか？
(縮切り 6月11日)

1 月臨時会

令和3年1月臨時会を
1月29日(金)に開催。2の案件を審議し、全て可決・承認。

審議結果一覧

令和3年第1回1月臨時会

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
第1号議案	専決処分した事件の承認について(令和2年度大野城市一般会計補正予算(第11号))	全会一致承認	—
第2号議案	令和2年度大野城市一般会計補正予算(第12号)について	全会一致可決	予算委員会

1月臨時会 委員会レポート

コロナウイルスワクチン接種体制

予算委員会(補正)

第2号議案

「令和2年度大野城市一般会計補正予算(第12号)について」

歳入歳出予算総額から、それぞれ1億7,598万2,000円を追加し、補正後の歳入歳出予算総額を492億3,744万4,000円とするもの。

問 ワクチン接種は全市挙げての対応になるかと思うが、どのような体制で実施する予定なのか

答 ワクチン接種についてはスムーズに運営を行うため、ワクチン接種対策室を設け、課長を含め専任職員3名、任期付の職員1名、会計年度任用職員を配置し、体制を整えるようになっている。なお、コールセンターを2月末から9月30日まで設置する予定で、電話対応は、事業に関する問合せ、簡易な苦情対応、接種方法、予約の問合せ、会場予約受付等といった業務の内容を予定している。

問 ワクチンの接種の委託については約10万人分を見込んでいるとのことだが、高齢者の後には一般の人が続くと思われるが、病院等での接種は出来ないのか

答 今回接種するワクチンの特性上、一梱包が約1,000人分で、溶かしたら5日間で使い切らないといけない。そのワクチンの審査が終了していて、まずは、そのワクチンから医療従事者と高齢者は接種をしていく予定であり、スケジュールの早い段階では集団でないと難しいだろうと考えている。しかし、他にも2社、国が本契約したものがあり、少し使いやすいワクチンになれば、皆様の接種もしやすいほうがよく、個別接種についても今後医師会等に協議していきたい。



3月定例会

令和3年3月定例会を2月22日(月)から3月19日(金)まで開催

35の案件を審議し、全て可決・同意。選挙が1件。報告が1件。5会派が代表質問。10名の議員が一般質問。

審議結果一覧

令和3年第2回3月定例会

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
第3号議案	大野城市自治体デジタル化推進基金条例の制定について	全会一致可決	総務企画委員会
第4号議案	大野城市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数 可決 (賛成17・反対1)	福祉文教委員会
第5号議案	大野城市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決	//
第6号議案	大野城市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
第7号議案	大野城市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
第8号議案	大野城市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
第9号議案	大野城市スポーツ推進審議会設置条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
第10号議案	大野城市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	//	都市環境委員会
第11号議案	市道路線の廃止について	//	//
第12号議案	市道路線の認定について	//	//
第13号議案	財産の取得について	//	//
第14号議案	大野城市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	
第15号議案	令和2年度大野城市一般会計補正予算(第13号)について	全会一致可決	予算委員会
第16号議案	令和2年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)について	//	//
第17号議案	令和2年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	//	//
第18号議案	令和2年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	//	//
第19号議案	令和2年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計補正予算(第1号)について	//	//
第20号議案	令和2年度大野城市土地区画整理清算金特別会計補正予算(第1号)について	//	//
第21号議案	令和2年度大野城市水道事業会計補正予算(第3号)について	//	//
第22号議案	令和2年度大野城市下水道事業会計補正予算(第4号)について	//	//
第23号議案	令和3年度大野城市一般会計予算について	//	//
第24号議案	令和3年度大野城市国民健康保険特別会計予算について	//	//
第25号議案	令和3年度大野城市介護保険特別会計予算について	//	//
第26号議案	令和3年度大野城市後期高齢者医療特別会計予算について	//	//
第27号議案	令和3年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計予算について	//	//
第28号議案	令和3年度大野城市公共用地先行取得事業特別会計予算について	//	//
第29号議案	令和3年度大野城市土地区画整理清算金特別会計予算について	//	//
第30号議案	令和3年度大野城市水道事業会計予算について	//	//
第31号議案	令和3年度大野城市下水道事業会計予算について	//	//
第32号議案	大野城市立診療所の設置及び管理に関する条例の制定について	//	福祉文教委員会
第33号議案	大野城市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
第34号議案	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増加及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更について	//	総務企画委員会
第35号議案	令和2年度大野城市一般会計補正予算(第14号)について	//	予算委員会
第36号議案	令和3年度大野城市一般会計補正予算(第1号)について	//	//
第37号議案	令和3年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	//	//
-	大野城市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙	選挙	-
最終報告	市民に開かれた議会をつくる調査特別委員会	報告	-

賛否等の分かれた議案

(○：賛成、●：反対、退：退席、－：議長は表決に加わらないため)

議員氏名	自民令和				自民まどか			自民大野城			公明党			改革フォーラム		市民クラブ			
	関井 利夫	山上 高昭	森 和也	平田 不二香	原田 真光	田中 健一	中村 真一	渡邊 知之	平井 信太郎	井福 大昌	大塚 みどり	井上 正則	河村 康之	神田 徳良	関岡 俊実	松田 美由紀	松崎 百合子	福澤 信光	松崎 正和
第4号議案	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

1月臨時議会

委員会レポート

3月定例会

一般会計予算

代表質問

一般質問

行政サービスの向上を目指して

総務企画委員会

第3号議案

「大野城市自治体デジタル化推進基金条例の制定について」

問 基金の活用を検討している事業について

答 オンライン申請やデジタル総合窓口を検討している。現在窓口で市民の方が、手書きで手続きをしているが、今後は書かない窓口などの仕組みを検討している。

問 基金を活用した事業を行う期間について

答 当面5年間の事業計画を立て、予算に定めた額を積み立てていく。

問 基金の財源について

答 必要な時に必要な財源をあらかじめ確保する必要があり、一般財源を充てる。

問 デジタル化の推進に係る費用について

答 今後5年間でおよそ2億円になる。

問 市職員で構成されるデジタルトランスフォーメーション推進プロジェクトチームと基金を活用する事業の関わりについて

答 デジタル総合窓口の手続き内容や市民の利便性が上がるものの提案など、事業を導入するにあたり具体的なことを検討していきたい。

問 議会で使用するタブレット等の導入についての考えは

答 行政事務の効率化の観点から、全体のシステム化は検討していくべきである。今後プロジェクトチームなどで議論していきたい。

コロナワクチン接種が始まります

福祉文教委員会

第4号議案

「大野城市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について」

問 第8期の3年間で保険料基準額が現状の月額5,400円から5,430円に改定されるが、これにより保険料の見込みは

答 第7期と比べ、3年間で約3億7,000万円程の増額となる。

問 低所得者の場合、保険料が低くても所得に対する割合が高いため低所得者の負担を減らし、高所得者の負担を増やす方策をどう考えるか

答 大野城市は、高所得者の方の率が高い傾向である。

第32号議案

「大野城市立診療所の設置及び管理に関する条例の制定について」

問 新型コロナウイルスワクチンの接種会場がコミュニティセンター等で行われるが、会場

での接種希望対象者と配置人員数は

答 接種会場一箇所につき、平日4時間の接種時間を設け、接種対象者は300人を予定し、土日は7時間の接種時間を設け、接種対象者は525人を見込んでいる。配置人員は医師や看護師等の医療スタッフ、受付、案内スタッフ等、市職員を含めて概ね一日35名程度での運営を予定している。

問 接種は平日、土日に行い、対象者は16歳以上と考えると全体の接種はいつ頃終わるのか

答 全体ではおおむね年内と予定している。

第9号議案

「大野城市スポーツ推進審議会設置条例の一部を改正する条例の制定について」

問 オリンピック委員会は女性を4割にとわれているが、スポーツ推進審議会は全体で女性委員は何名か

答 委員9名中、女性委員は4名。

「光ヶ丘公園」が「大池公園」に変わりました 都市環境委員会

第10号議案

「大野城市都市公園条例の一部を改正する条約の制定について」

問 「光ヶ丘公園」が「大池公園」に名称変更になった理由は何か

答 地元から公園名称を変更してほしいとの要望があった。地域住民の公園に対する愛着心が高まるとともに、公園利用が促進されることが期待される。公園名称の変更に対しては、慎重かつ総合的な判断で対応したい。



第13号議案

「財産の取得について」

問 牛頸ダム周辺の集水区域で、山の整備、水源を確保するという事で、山林を取得しているが、持ち主が売りたいのか、市から交渉して売買契約を行ったのか。売買契約の決定方法はどのように行ったのか

答 地権者の方からの申し出により買取りを行っている。価格の決定については、不動産鑑定を行ったうえで、大野城市不動産価格評定委員会で決定している。

まどか号の運行補助金の追加

予算委員会(補正)

第15号議案

「令和2年度大野城市一般会計補正予算(第13号)について」

歳入歳出予算総額から、それぞれ4億9,082万8,000円を減額し、補正後の歳入歳出予算総額を487億4,661万6,000円とするもの。

問 歳入の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、どのような目的で支出する予定なのか

答 雇用調整推進奨励金など、新型コロナウイルス感染症対策のための事業に活用する。

問 デジタル推進事業で、補正で予算を取っているが、事業について既に何か始まっているのか

答 細かい個別の事業は未確定の部分があるが、どの分野で実施していくかは方針を立てている。

今回創設しているデジタル化推進基金に関しては、今後出てくる事業に関して充てていくような形になっていく。

デジタル庁ができ、推進していくための自治体トランスフォーメーション推進計画というのを国が示しており、その計画で上がってくる事業などを主に取り扱っていくことになる。

問 大野城心のふるさと館使用料は減額になっている。新型コロナウイルス感染症拡大で緊急事態宣言が発出されており、昨年と比べて来館者はどの位減少したか

答 2月末現在の本年度の来館者数は3万7,097名、令和元年度1年間で9万8,980名、ただし、令和元年度3月の1か月間は緊急事態宣言に伴う臨時休館であった。前年度と比較すると1日あたりで現状43%と約6割来館者が減っている。

問 コミュニティバス事業補助金1,200万円を新たに補助されるが、これは約12万人利用者が減ったということか

答 令和元年度と令和2年度を比較したところ、乗客数は15万人ほど減少する見込みであり、収益についても乗客が減少する分で約1,200万円の減収となる。

効率的、効果的業務運用推進中

予算委員会(当初)

第23号議案

「令和3年度大野城市一般会計予算について」

問 シティプロモーション推進事業について、ブランドメッセージの発信に伴う委託料が生じるとのことだが、ブランドメッセージとは何か。また、この委託先はコンサルタントや広告代理店なのか

答 ブランドメッセージとは、大野城市の特色を表す言葉などである。委託先は、広告代理店やコンサルタントなどを想定している。

問 ふるさと納税に関して、大野城市への寄附金と市民から他自治体への寄附の差額はどれくらいあるのか

答 令和3年度予算ベースで、市民税の控除額は現在1億7,500万円を見込んでいる。寄附額が6億5,800万円、経費が3億8,443万7,000円、差引き2億7,356万3,000円になる。市民税の控除額は1億7,500万円、9,856万3,000円の黒字を見込んでいる。

問 徴収費の市税等のコンビニエンスストア収納事業予算が増えているが、年々コンビニエンスストアで収納される方が増えていることだと思うが、割合はどれくらいか

答 平成25年度から開始し順調に伸びている。全体の傾向として銀行窓口で直接納める割合が減ってきている。一方、コンビニ収納と口座振替が伸びている状況。令和元年度の割合は、銀行で納められる割合が37.8%、口座振替が33.4%、コンビニが28.8%、一見すると銀行が多いように見えるが推移としてはコンビニ収納が増えている状況。

問 戸別受信機購入費500台は、例えば地区を決めて配付するのか、個別に高齢者の方のところに配付するのか、計画が決まっているのか

答 戸別受信機の配付対象は、土砂災害警戒区域、浸水想定区域など、いわゆる避難情報を発令する恐れのある区域にお住いの方、高齢者で携帯電話などの通信機器をお持ちでない方に優先的に配布するなど詳細は現在検討している。

新規事業 & 主要事業

インターネット口座振替受付サービス

市税などの納付について、いつでもどこでも口座振替の申し込みができるようにするとともに、口座振替までの期間を短縮し、利便性の向上を図る。

新型コロナウイルスワクチン接種事業

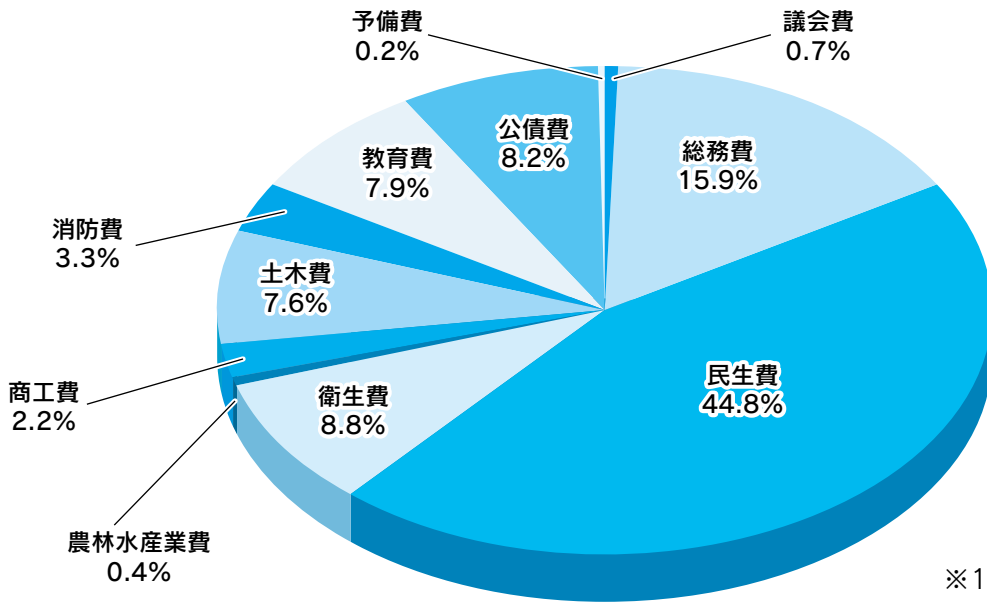
市民の方々が安全かつ円滑にワクチン接種ができるよう実施体制を整備する。大野城市では北コミュニティセンター・南コミュニティセンター・すこやか交流プラザの3箇所を接種会場とし、1人2回のワクチン接種を行う予定。

子ども家庭総合支援拠点運営事業

すべての子どもとその家庭及び妊産婦等の福祉に関し、必要な支援を適切に行い、児童への虐待等を防止することを目的とする。

子ども家庭支援全般に係る業務や、要支援児童及び要保護児童等への支援、児童相談所等の関係機関との連携を強化する「子ども家庭総合支援拠点」を市役所内に設置する。

令和3年度一般会計当初予算



※1万円未満は切り捨て

歳出総額 361億5900万円

新型コロナウイルス感染症の影響により市税収入が減少する見込みであり、前年度比1億9200万円減と7年ぶりのマイナス予算

気になるポイントをピックアップ！

商工費（前年度比 47.6%増）

◎プレミアム付商品券発行支援事業

3270万円

令和2年度に続いて、プレミアム率20%の商品券が発行されます。大野城市商工会加入の多くの店舗で利用できます。

◎おおの山城大文字まつり支援事業

569万円

昨年は新型コロナウイルス、一昨年は台風のため中止になりました。令和3年度も予算を許さない状況が続いていますが、実施の折には39回目にちなみ、「サンキューまつり」として開催されます。

消防費（前年度比 18.6%減）

◎戸別受信機再送信局工事費・購入費合計

4382万円

防災無線が聞こえ辛い地区の世帯等向けに戸別受信機を導入します。

◎ハザードマップ更新事業

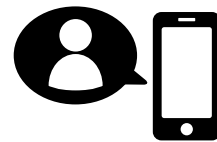
1030万円

冊子と一体になった「大野城市総合防災マップ」を改訂し、全戸配布されます。様々な災害についてが一冊にまとめたものです。是非この機会に目を通し、ご活用して頂きますようお願いいたします。

代表質問

～大野城市長の考えを問う～

各会派のタイトルにあるQRコードから映像を見ることができます。



代表質問とは・・・市長の施策方針及び所信表明等に関して、会派から代表者を立てて質問を行います。

会派名	所属議員	内容
自民令和	・関井 利夫 ・山上 高昭 ・森 和也 ・原田 真光 ・平田 不二香	1. 令和3年度施政方針について
自民まどか	● 田中 健一 ・中村 真一 ・渡邊 知之	
公明党	・大塚 みどり ● 井上 正則 ・河村 康之 ・神田 徳良	1. 令和3年度施政方針について
改革フォーラム	● 関岡 俊実 ・松田 美由紀 ・松崎 百合子	1. 今年度の予算編成の指針と今後の財政計画について 2. 行政事務のデジタル化計画について 3. 教育環境の充実について
自民大野城	・平井 信太郎 ● 井福 大昌	市長施政方針 1. 市内の事業者へのコロナ支援について 2. 子どもたちへのコロナ支援について 3. 西鉄連続立体交差事業と都市開発・街づくり、その他にぎわい関連事業との連携について 4. デジタル推進プロジェクトチーム設置について 5. 少子高齢化と人口減少による様々な問題について



映像はこちら

大野城市の将来に向けたデザインづくり

自民令和・自民まどか

問 新型コロナウイルス感染症対策について

答 市では、3密の回避、手や指の衛生の徹底、マスクの着用を市民に呼び掛け、イベントの縮小や中止、公共施設の感染予防対策等を引き続き徹底していく。県の検査・医療体制は、身近な医療機関で適切に診療と検査を受けることができ、病床や宿泊療養施設の拡充にも努めている。また、ワクチン接種は、開始から当面の間は集団接種とし、すこやか交流プラザ、南コミュニティセンター、北コミュニティセンターの3会場で実施予定。

問 自然災害対策への取り組みについて

答 県管理である御笠川の災害対策は、関係する5市で構成する協議会で県や国に河川改修の要望等を行っている。避難所指定の公共施設の耐震化は全て完了し、市民総ぐるみ防災訓練を実施する等、災害に強い人づくり・まちづくり・体制づくりを進め、引き続き防災力・減災力の向上に努めていく。

問 ポストコロナ時代のコミュニティ都市のあり方について

答 つくり上げてきたコミュニティ都市は、ポストコロナ時代にも本市のまちづくりの根幹であり、次の時代へつないでいかなければならない。

問 9月の市長選挙について

答 コロナ禍の収束とニューノーマルの社会に向け、100年先へと続く将来に向けたデザインを構築しなければならない。そうした思いを新たに、次期市長選挙に立候補する決意をしたので、ここに表明する。





映像は「151」

令和3年度施政方針について

公明党

問 大雨等の災害が起きた際、直接市民からSNS等による被災箇所等の情報提供があれば二次災害等の抑止に繋がると思うが見解を伺いたい

答 デジタル化の推進に取り組むなか、SNSを活用した市民からの情報提供や市民への情報発信の仕組みづくりを進め、災害時の情報収集や活用などについて検討を行っていく。

問 これまでの災害伝達情報システムでは「聞こえない」「聞き取れない」「伝わらない」との指摘があったが、戸別受信機の令和4年度からの運用は、災害対応に取り組む大きな前進である。そこで、配付対象世帯、配付予定地域について、どのような基準で決めるのか、また有償なのか無償なのかを伺いたい

答 戸別受信機の配付対象となる世帯や地域は、土砂災害警戒区域や浸水想定区域の避難情報を発令する恐れのある区域にお住まいの方、携帯

電話などの情報通信機器をお持ちでない方など、災害情報を取得する手段のない方々から優先的に配付を検討していく。費用負担については有償、無償の両面から検討していく。

問 今後「地震は必ず来る」が「まどかぴあ」など、多くの人が集うイベント開催時の会場を活用し、地震発生を想定した防災訓練を検討してはと思うが見解を伺いたい

答 今後も地震から自分の身を守るための訓練や市民に対する啓発の取組を充実をさせていくことを基本とし、イベント会場を活用した避難訓練の実施についても調査研究を進めていきたい。



映像は「151」

予算編成の指針と教育環境の充実について

改革フォーラム

問 今年度の予算編成の指針と今後の財政計画について伺う

答 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により市税収入への影響が避けられないことから、「入るを量りて、出ざるを制す」の原則を徹底、選択と集中、都市将来像の実現に向けた経営資源の有効配分、国庫補助金などの情報収集、感染症で影響を受ける事業と受けない事業の仕分を行う、という方針のもと予算編成を行った。

財政計画については、市の財政フレームを設定し、予算編成を行ってきた。コロナ禍において、社会情勢や経済状況などの先行きが不透明な中、今後の財政状況を見通すことは難しいが、少子高齢化の進行により、年々増加する社会保障費など、対応していかなければならない課題がある。

問 オンライン授業による学習支援と学習環境の改善について伺う

答 各学校における児童生徒1人1台のタブレット端末及び校内無線ネットワークの整備を進めており、オンライン授業の実施に向けた取り組みを進めている。学校と家庭間における双方向型のオンライン授業の準備も、急ぎ進めていく方針。

近年、中央地区や東地区を中心に児童・生徒数が増加している。将来にわたっての推移なども考慮した適切な施設整備を進めるとともに、市民のニーズなどを踏まえた学習環境の充実に努める。





映像は「しほり」

令和3年度施政方針について

自民大野城

問 市内事業者への支援において、第3波の長期化や第4波の到来などの万が一の場合、先手支援の備えについて見解は

答 事業者に対しては、国や県が行う支援の上乗せや充実を図るなど、市独自の支援を行ってきた。今後も、国、県の動向を注視しながら、広域的な支援を含め、機を逸することなく実施に向けて検討をしていく。

問 市内の子どもたちへのコロナ感染対策や学習支援、学校行事が中止になり思い出作りを望んでいる子どもたちへの支援、その他、子どもを持つ家庭への支援などのお考えは

答 コロナ禍での子育てに関する悩みや不安に寄り添い、社会的に弱い立場にある子どもやその保護者が孤立しないように努め、子育て世代包括支援センターや本年4月に設置する子ども家庭総合支援拠点を中心に、関係機関が連携しながら妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行っていく。

問 西鉄連続立体交差事業について、白木原駅西口には、日本郵便の2195平方メートルもの未利用地いわゆる郵政アパート跡があり、JR大野城駅西側にも財務省の土地がある。

特に郵政アパートはさびれて危険な建物になっており、高架完成後の安全安心な街づくりと景観のために福岡県と協力して国に対してなんらかの要望を出すべきと考えるが、見解は

答 市としても駅周辺の整備と統一感があり、にぎわいのあるまちづくりに資するような土地活用を図ってもらおうよう、引き続き日本郵便へ強く働きかけをしていきたいと考えている。



※駅舎及び駅前広場のデザインは2019年1月時点のイメージであり実際とは異なる場合があります。

～ これからの大野城を問う ～

一般質問

各議員のタイトルにあるQRコードから映像を見ることができます。



注：★がついている内容を掲載しています。

氏名	件名
森 和也	★小中学校の対応について
平田 不二香	★終活支援について
原田 真光	★公共施設の年間予約について
渡邊 知之	★空き家等対策について
河村 康之	・AED（自動体外式除細動器）の設置・活用について ★ヤングケアラー支援の取り組みについて
神田 徳良	★子育て支援について ・行政手続のデジタル化やオンライン申請及び押印廃止の推進について
松崎 百合子	★SDGs だれ一人取り残さない「持続可能な開発目標」達成に向けた大野城市の取り組みについて
松田 美由紀	★新型コロナウイルス感染症への学校や施設等の対応や市の考えについて
大塚 みどり	★コロナ禍における課題について
平井 信太郎	★新型コロナワクチン接種における本市の対応について ・大野城トレイルの遊歩道の街灯について



映像はこちら

通学時の連絡(安全)確保 — 携帯電話の活用

森 和也



問 学校への児童生徒の携帯電話の持込みは、原則禁止されているが、例外的に持込みを認められている児童生徒は、小学校・中学校それぞれどれくらいいるか

答 個別の状況に応じ、例外的に持込みを認めることがある。過去3年間に例外的に持込みを認められた件数は、平成30年度は小学校41件、中学校3件、令和元年度は小学校58件、中学校5件、令和2年度は小学校75件、中学校3件である。

問 申請の理由は、どのような理由が多いか

答 理由として多いものは、登下校中に犯罪や事故に巻き込まれた場合の連絡手段として携帯電話を持たせたいとするものや、自然災害が発生した場合の連絡手段として持たせたいとする理由が多くなっている。

問 大野城市の小学生・中学生の、携帯電話の保有数・保有率はわかるか

答 令和3年2月に実施した調査によると、市内小中学生の携帯電話の保有率は、小学校の低学年は29.4%、中学年は43.8%、高学年は53.9%、中学校の1年生は74.5%、2年生は79.9%、3年生は84.2%となっている。

問 児童見守りシステムの導入を検討したか

答 児童見守りシステムは、地域における児童の安全確保の取組を支援するための情報システムであるが、現状では、システムの導入までには至っていない。



映像はこちら

誰もが自分らしく人生を送る 終活支援を

平田 不二香



問 本市の65歳以上の高齢者の人口と推移は

答 平成20年には約1万4,000人、10年後の平成30年には約2万1,000人と増加しており、今後も増加する見込みである。

問 転入者・転出者の現状は

答 人口10万849人に対する転入・転出を合わせた総異動率は12.1%である。

問 亡くなられた方の連絡先がわからない場合本市はどうしているか

答 生活保護法に基づいて、住所や所持品を確認後戸籍等の調査を行う。親族が見つからなかったり、ご遺体の引き取りを望まない時は本市が葬儀を行う。その費用は扶助費として市が支出している。

問 終活情報の事前登録など、本市も行政による終活支援を行ってはどうか

答 亡くなられた後に葬儀等を任せられる親族がいない人を対象とした支援の事業化など、終活支援の在り方を含め、市社会福祉協議会とともに調査・研究を行う。

問 大野城市牛頸532にある本市所有の墓地の現状は

答 人の出入りがあまりなく、手入れもされていない。地元の管理組合もない。

問 この墓地を合葬式永代供養の芝生型納骨施設等として活用してはどうか

答 先進自治体の事例等の情報収集を行い検討課題とする。





映像は「まちの

年間予約の対象拡大で 保育園の「質」向上を

原田 真光



問 公共施設の年間予約とはどういったものか

答 年間予約は、市や教育委員会などの団体が、次年度の事業を円滑に計画できるようスポーツ施設の予約を一般予約よりも優先して行えるようにしているもの。

問 対象となる団体は、どういった団体があるのか

答 年間予約の対象となる団体は、市、教育委員会、行政区、コミュニティ運営協議会及び市の外郭団体を対象としている。外郭団体には、公益財団法人大野城市体育協会（令和3年度より大野城市スポーツ協会に名称変更）、大野城市文化連盟、大野城市国際交流協会、認可保育所及び届出保育施設などがある。

問 対象となる団体の選考基準はあるのか

答 年間予約の対象となる団体のうち外郭団体の選考基準は、市が補助金や委託料などを支出している団体や、本市におけるコミュニティ活動や生

涯学習活動の推進に寄与されている団体としている。

問 現状では、届出保育施設の一つである企業主導型保育事業所は、年間予約の対象となっていない。認可保育所や企業主導型以外の届出保育施設は年間予約の対象となっている。企業主導型保育所を対象に含めることはできないのか

答 企業主導型保育事業所を年間予約の対象に含めることについては、企業主導型保育事業所の活動内容や実態を所管部署に確認したうえで、年間予約の対象に含める方向で検討したいと考えている。



映像は「まちの

空き家等対策について

渡邊 知之



問 令和2年4月1日より開設した空き家バンクの登録状況、また空き家バンクの利用状況について伺いたい。またほかの組織との連携はどのようにされているか

答 空き家バンクは、2月末までに10件の登録があり、売却等により成約済みの物件が4件、売却に向け買主の募集を行っている物件が3件、相続など権利関係の整理をしている物件が3件となっている。他の機関等との連携は、空き家バンクを福岡県宅地建物取引業協会との協定に基づき、連携し運営している。また、空き家の管理は大野城市シルバー人材センターと協定を締結し、空き家見守りサービスを提供するなどの連携をしている。

問 空き家を、こども食堂や高齢者サロンとして地域のまちづくりのために活用する際や、グループホームやカフェなどを開業する際の改修費用への補助制度が必要だと思いがいかがか

答 現在は、福祉的利用を希望する空き家の所有者はおらず、市独自の補助制度はないが、先進自治体の事例を踏まえ今後調査・研究し、空き家等対策検討委員会で補助制度の必要性について議論していく。また、本計画の基本方針である空き家の発生予防の観点をさらに充実させ、先手、先取の施策を講じていく。





映像は「こまち」

ヤングケアラーの実態と支援のあり方を問う

河村 康之



問 家族の介護や世話をする18歳未満の子どものことをヤングケアラーと呼ぶが、本市としてヤングケアラーとは具体的にどのような状況下に置かれている子どもたちであると認識をしているのか

答 ヤングケアラーとは、年齢や成長の度合いに見合わないような重い責任や負担を負い、障がい、病気、精神疾患のある保護者や祖父母への介護や、年下のきょうだいの世話などをすることで、自らの育ちや教育に影響を及ぼしている18歳未満の子どもと定義され、家族の介護等により、健やかな成長や生活への影響から、ネグレクトや心理的虐待に至っている場合があることを認識している。

問 今後、ヤングケアラーの実態調査を通じ、厚労省と文科省は連携を行っていくことが求められるが、本市としては早期発見、早期対応のためにどのようなことが考えられるか

答 ヤングケアラーに関するアセスメントシートやガイドライン等により学校への周知に努め、子どもがヤングケアラーである可能性に気づいた際は、担任や養護教諭、管理職などと情報を共有し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの支援も活用しながら、関係機関とも連携し対応したい。



映像は「こまち」

発達障がいのある子どもや親への支援策は

神田 徳良



問 発達に心配のある親子を対象としたいちご学級の現状及び相談内容や事業の周知方法は

答 主な相談として、言葉の遅れ、落ち着きがない、かんしゃくがひどいなど。周知方法は市ホームページや「おおのじょう子育てサポートブック」への掲載、乳幼児健診のときに必要に応じて紹介している。集団療育は、保育士2名で1グループあたり6名から8名で行い、2歳児のグループは月3回、3歳児～5歳児の各グループは月2回、1回あたり90分で実施している。

研修を行い、また保育所等の巡回相談などを通じ連携に努めている。

問 5歳児健診について、以前の回答で子育て世代のニーズも把握しながら、調査・研究を進めるとのことだったが、どうなったか

答 5歳児健診は現時点において小児科医などのスタッフの確保が困難であると考えており、保育所等の巡回相談を充実させ、発達が気になるお子さんの早期の支援体制の充実に努めていく。

問 発達障がいの早期発見をするために幼稚園及び保育所との連携は

答 いちご学級では、市内の幼稚園及び保育所などを対象に、発達に課題のあるお子さんへの関わり方や、理解を深めるため、専門家の講話などの





映像は「1551」

SDGs「持続可能な開発目標」の2030年達成へ

松崎 百合子



問 目標4「質の高い教育をみんなに」

オンライン授業・学習の早期実施について

答 1人1台タブレット端末及び校内無線ネットワークは3月中に全校で整備予定。完了後、オンライン授業の実施を急ぎ進めていく。

問 インターネット環境のない家庭の子どもたちの学びの平等について

答 対応策の一つとしてモバイルルーターなどの通信機器の貸出しについても今後検討したい。通信料を就学援助費の対象とするかについても通信機器の整備方針と一体的に検討したい。

問 目標5「ジェンダー平等を実現しよう」

本市は政策決定に重要な部長級以上の女性がゼロ。どう現状を変えていくか、市長の見解は

答 現在の職員構成にて50歳代の女性職員が極端に少ないのが要因のひとつ。今後も適材適所の配置を行っていく。

問 目標1「貧困をなくそう」新型コロナウイルスによる生活困窮者の支援について

答 生活困窮者自立支援制度の昨年度の自立相談件数は101件、今年度は1月末で613件。ひとり親世帯臨時特別給付金給付は952世帯。生活保護の扶養照会は3親等以内の親族へ実施。経済的支援が可能な回答はない。

問 パート等の休職やシフト減など個人で申請できる休業支援金・給付金を周知し支援を

答 支援ガイドブック、市のホームページに掲載。国のコールセンター、国や県の特別労働相談窓口も案内。



「誰一人取り残さない」世界共通の目標



映像は「1551」

コロナ禍の臨時休業等の判断基準について

松田 美由紀



問 小中学校の臨時休業時の学習や学習の遅れについて

答 所定の学習内容を年度内に終了する見通しであり、臨時休業等による遅れはない。

問 兄弟姉妹の登校・登園自粛判断基準について

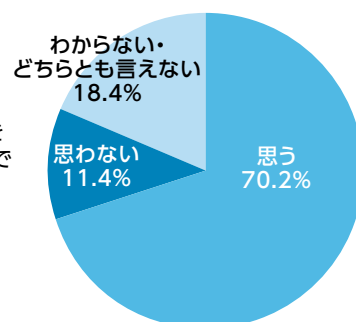
答 今年1月国からの通知の趣旨である感染拡大防止の観点から、同居の家族に新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる場合には児童・生徒を休ませる措置を取り、臨時休業等の対象となった児童・生徒だけでなくその兄弟姉妹についても登校を控えるよう保護者に対応をお願いしていた。その後、事例を重ねる中で保健所の調査結果でPCR検査の対象とならない児童生徒の兄弟姉妹については感染の疑いはないと判断し、登校することができるよう見直しを行った。保育所幼稚園では、園児の姉や兄が通う小中学校が臨時休業などの対象となった場合に園児の登園自粛は、各施設の判断になる。小中学

生の姉や兄が濃厚接触者と判定されPCR検査の対象となった場合は、その結果が判明するまで各園から登園自粛の協力依頼をしている。

問 欠席連絡等、学校と保護者の連絡手段のICT化について(小中学校・保育所幼稚園)

答 欠席連絡等の安心メールの利用については今後学校と検討していく。保育所幼稚園のICT化は事例が増えているので引き続き活用状況の把握を行っていく。

お休みの連絡をスマートフォンでできたら良いと思いますか？





映像はこちら

コロナ禍で、市民の命を守る大野城市！

大塚 みどり



問 臨時休業の基準についての考えは

答 学校関係者に感染者または濃厚接触者が確認された時点で全校休業。濃厚接触者となった学校関係者には、即日検査結果が出る民間病院で、市費でPCR検査を受ける本市独自の対応を行ってきた。今後も児童・生徒の命を守る本市独自の基準を適切に運用する。

問 2年前に策定した「大野城市いのちを支える自殺対策計画」の取組状況は

答 啓発や自殺対策を支える人材の育成などに関する基本施策と、生活困窮者、無職者、失業者及び高齢者に関する重要施策に取り組んでいる。各課による連絡部会で本市の現状や取組状況の共有、市三役及び部局長による推進会議にて今後の方針の協議などを行う。窓口に来られた方に気になる点があった場合に関係課につなぎ、

心配事や課題の解決が図られるよう、庁内で連携を取るなどの対応も継続していく。

問 生きる支援の情報の周知・啓発として、情報広報課はどのように取り組んだのか

答 相談事業や支援制度の情報を、広報紙やホームページ、SNSを活用した情報発信を行っている。コロナ禍で最新の情報を届けることが必要。市の問い合わせや相談などで、その回答を人口知能(AI)が予測して必要な情報にたどりつくシステムなど、本市が設置したデジタルトランスフォーメーション推進プロジェクトチームで、活用の検討を進めていく。



映像はこちら

ワクチン接種で新型コロナを終息させよう！

平井 信太郎



問 ワクチン接種は民間のかかりつけ医院での接種は可能か

答 公共3施設(すこやか交流プラザ、南コミ、北コミ)での接種の他に、ワクチンの副反応への安全性が評価され保存や配送方法が確立されれば、かかりつけ医院などで個別接種することも考えられる。

問 高齢者施設へ医療関係者が出向いての接種は可能か

答 多くの高齢者施設で接種が可能との回答を得ている。施設及び医療機関と調整を行い円滑な接種に向けた準備を進めたい。

問 コロナ禍を収束するため、市民からボランティアの募集をしてはどうか

答 接種会場のスタッフは、委託事業者のほか、市職員が全庁体制で対応するので、必要な人員は確

保している。現時点でのボランティアの募集は予定していない。

問 新型コロナウイルス対策全般の市長の見解は

答 市民の皆様にも基本的な感染予防対策を呼び掛け、必要な対応は迅速に実行する。ワクチン接種の目的は、感染症の発症を予防し、死亡者や重傷者を減らすことであり、私自身も接種の順番が来たときは、率先して接種したいと考える。ワクチンの有効性や副反応など正確に情報を集約し、市民の皆様の不安を和らげ、速やかに接種出来るよう準備を行い、実施に向けて万全を期していく。



作品介绍

短歌

- 一面の菜の花畑のたくましさ
思ひ直して又歩き出す
- いち早く菜の花山吹連翹咲き
視覚黄となり春訪れる
- 桃色の和菓子ひとくち食みをれば
私の住む町ゆるやかに春
(若草 高名 稔さん)
- トントンと背を叩かれて振り返り
目と目が合ってニコニコ笑顔
- 思い出のアルバム聞いて悲しけり
幾多の思い出我にもありて
- 晴天は家に居るより外が良し
されど密にはならぬようにと
(緑ヶ丘 平井静代さん)
- 家の前かまくら造りし昔あり
写真の中の子等の可愛さ
- 南天の実の一つ無き今朝の庭
小鳥はどこぞの庭に遊ぶか
- たんぽぽの綿毛を飛ばすおちよぽろ
青き空より迎えの風が
(牛頸 馬淵幸子さん)

川柳

- トップ陣 その一言が 危ういの
- 一句でき 更に欲出し もう一句
(緑ヶ丘 平井静代さん)

俳句

- 春野菜 メニュー広がり 舌好調
- 初節句 ベランダで泳いだ 鯉のぼり
(緑ヶ丘 平井静代さん)
- 香りたつ 手植し夫の 黄蠟梅きろうばい
- 顔をだす 日差しの先に 土筆つづじんぼう
(つつじヶ丘 松野直美さん)
- かぜにふかれてあるくまち つくし晴れ
- まどか号 手をあげ乗りつき 初夏なつ歩き
(乙金台 泉 満夫さん)

詩

- 私は福祉弁当を とっています
配達する方は みんなやさしい方達ばかりで
おいしくて心が あたたくくなります
市の役をしている方が みんなこうであって下さい
ありがとうございます みなさん
(錦町 岩村廣さん)

作品掲載希望者募集

議会だよりでは、みなさんからいただいた作品を紹介します。

- 募集作品(未発表のものに限ります)
・俳句・川柳・短歌・写真・イラストなど
- 応募方法 住所、氏名、電話番号を記入して、
議会事務局「議会だより作品募集」係へ郵送または
直接窓口へ 〒816-8510 大野城市曙町二丁目2番1号
Tel. 580-1938



- 注意事項
 - ・未発表のものに限ります
 - ・人物の写真については、掲載の了解を得てください。
 - ・提出された作品は、返却しません。
 - ・ペンネームでも可とします。
 - ・応募多数の場合は広報委員会が厳選して決定します。あらかじめご了承ください。

- 応募締切
8月15日号掲載は6月11日まで



議会の動き

- 1月12日 広報委員会
- 21日 広報委員会
- 22日 議会運営委員会
- 29日 本会議(臨時会)
会派代表者会議
予算委員会
- 2月15日 議会運営委員会
会派代表者会議

- 22日 本会議(初日)
全員協議会
議会運営委員会
会派代表者会議
- 3月3日 本会議(2日目)
会派代表者会議
総務企画委員会
- 4日 福祉文教委員会
都市環境委員会
- 5日 予算委員会
- 8~10日 予算委員会
市民に開かれた議会をつくる調査特別委員会

- 15日 本会議(3日目、一般質問)
議会運営委員会
- 16日 本会議(4日目、一般質問)
会派代表者会議
議会運営委員会
本会議(最終日)
予算委員会
- 4月9日 広報委員会
- 16日 広報委員会



編集

井上正則
福澤信光
関井利夫
原田真光
渡邊知之
平田不二香

あんでな

「幼い姉妹が手をつなぎ道を歩く姿」「公園での笑い声」「道端で知人と交わす世間話」こんなあたり前の日常が本当に幸せであることに気づかされたコロナ時代。これから先も予期せぬ時代が訪れるかも知れない、だからこそ

手を取り合い、歩いて行こう…明日への一步を…
(福澤信光)